

献血について（お願い）

医学の進歩や交通事故の増加等により多くの血液が必要となっておりますが、近年は献血者の減少により血液が不足傾向にあります。

献血による血液により多くの患者さんの命を救う手段として使用されています。つきましては、下記の日程により献血を実施いたしますので、ぜひ皆さまのご協力をお願い申し上げます。

—— 平成 19 年 6 月 7 日(木) ——

- 南部総合県民局 美波庁舎前 10:00 ~ 12:00
- 道の駅ひわさ 13:30 ~ 15:30

6月 まちの相談カレンダー

1日	金	人権相談(特設)(9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター " (13:00~15:00) 由岐老人福祉センター
5日	火	心配ごと相談(13:00~15:00) 地域交流支援センター
7日	木	心配ごと相談(9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター 行政相談(9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
12日	火	心配ごと相談(13:00~15:00) 地域交流支援センター
13日	水	行政相談(13:00~15:00) 由岐老人福祉センター
14日	木	心配ごと相談(9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
19日	火	心配ごと相談(13:00~15:00) 地域交流支援センター
21日	木	心配ごと相談(9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター
26日	火	心配ごと相談(13:00~15:00) 地域交流支援センター
28日	木	心配ごと相談(9:00~12:00) 日和佐老人福祉センター

町民文芸

由岐句会

船虫の生涯逃げてばかりかな
植田水白鷺の影とらへけり
札所ゆく手摺れの杖や若葉雨
鯉織風を孕みて大うねり
燕来て軒ぐるぐると廻りけり
花大根風吹き抜ける海の駅
掛けかえる藍の暖簾や業平忌
相づちの聞こえる位置に草を取る
銭湯に菖蒲はちまき利かん坊
純白やすだちの花の香にひたる
鯉織泳がせ島の保育園
読むために昼を灯せり菜種梅雨
ねんごろに菖蒲で撫づる長湯かな

木岐句会

赤海月雑魚を背負いてぶかぶかと
みどり児をあやす母ごや柏餅
佇みし池の水より夏きたる
擁壁を水流れ落ち夏に入る

日和佐短歌会

どんぐりの未来の森にあふれいんみどり思いて苗木を植つる
娘のくれし銀杏並木のジグソパズルをば吾の日課と心はつめり
黄水仙みなうつつむきて何思う千の風吹くわがさ庭辺に
花見とて孫に誘われ来し山里の蕾はかたく春は未だし
花見客一団と見ゆる人歌やおどりでさんざめきおり
春はまだ寒き弥生の黒土に赤く芽ぶきし芍薬見たり
米寿なる媪の遺影拝むれば頬に微かな千の風ふく
はこばれるお茶を持つ子に櫻花ひらりやさしき言葉聞こゆる
外つ国に住む子が置いてゆきし靴みがき上げたり十年経し夜に
春光のやさしくそそぐ柿若葉日々ひるがりてあたり明るし

投稿(短歌)

想い出の詰まる生家の電話器にもう一度聞くからっぽの音
空に青山湧き上る樹木して命の息吹き詠嘆にきす

藪小径日陰づたいに著我の花
神の井に釣瓶たぐりぬ花の下
芍薬の明日まつ彩のおちよぽ口
五月晴れ防災瓦ひかりおり
園児らを見つめておりし藤の花
菖蒲の香ほのと浴後の束ね髪
玉葱を揃え整える軒の宿
移り行く窓の万緑佐賀野かな
青すだれ風の明るき浦在所

日和佐句会

農をつぐ子のあるゆとり屋根菖蒲
しなやかに風に漂い薔薇白し
万緑や開通記念の道闊歩
母の日や失いて知る母の恩
炎ゆるがにつつじの咲ける一処
万葉かなの遺墨に魅入る母御の日

投稿(俳句)

鈴の音の一息つきて徒遍路
われなえて君の耳たぶさくら貝



下町 儀雄
船越 儀雄

中崎小夜子
志尾多磨子
森延子
浜名文子
中野初美
青山幸子
谷嘉市
坂井嘉人
青山文夫
田川幸枝
本庄潮乃
中川美鈴
白河輝女
岡本真砂
名田祥人
小林申治

町民文芸のコーナーに掲載を希望される場合は、総務課 ☎77 - 3611 まで連絡をお願いします。